

# 人権教育だより

桜塚小学校

人権教育研究部

桜塚小学校では、「人権を自分自身にかかわる身近な問題として、気づき、考え、行動する意識を持つ素地を育てたい」との思いから、一人ひとりの願いを大切に、互いを認め合える心を育てる。〇生命がかけがえのないものであることを知り、生命を大切にすることを育てる。を研究主題とし、様々な取り組みを行っています。人権教育だよりでは、校内で行った取り組みなどを不定期で発信していく予定です。

## 12月11日人権学習会を行いました

授業後の子どもたちの様子や振り返りの一部を載せています

沖本和子さんをお招きし、低学年、高学年にわかれて「もちあじ」についてお話を聞きしました。

どちらの内容にも共通していたのは、「ひとりひとりのもちあじはみんなのたからもの。」「もちあじは自分をつくっているもので命のもと。ひとりひとり違うもの。」「ひとりひとり違うからいっしょにいておもしろい!」「どんな自分もここにいてOK!」「みんなが安心して自分のことを話せるように3つの安心ルールを守ろう」「安心ルール①うなずこう おー・へえー・そうなんや ②ひみつは守ろう ③パス、OK!」です。

低学年も高学年もワークシートに自分のことを書き、近くの人と自分のことについて伝え合いました。安心ルールを守り、楽しく活動できていました。

- ・もちあじはみんなのたからものだということがわかりました。
- ・これから人のひみつをまもりたいです。
- ・じぶんのもちあじはじぶんでたいせつにしたいです。
- ・これからうなずきたいなとおもいました。
- ・すきだけどにがてなこと、きらいだけどとくいなこと、人それぞれあっておもしろい。
- ・とくいなことにもがてなこと一人ひとりちがうから、じぶんはせかいに1人しかない。
- ・はなしている人のほうをむいてうなずいたら、はなしている人もうれしいとおもった。

1年

- ・自分を作るものは持ち味だったんだと思った。
- ・あい手の話を聞こうと思った。
- ・自分の気持ちを人にいってもいいとしらなかつたから、聞いてよかった。
- ・もちあじっていのちのもとだとわかった。
- ・あんしんってだいじなことなのがあった。
- ・できないものはできなくていいんだということがわかった。わからないことはパスしていいんだということがわかった。
- ・これからはパスもしたい。自分のもちあじはたいせつにする。
- ・もちあじはみんなのたからものとわかった。
- ・一人一人ちがってみんないい。そのことばは知っていたけど、そのなかみは知らなかつた。今日知れてとってもだいじなんだなと思った。
- ・できなくてもだいじょうぶなんだな。自分だけじゃないと思えてとってもいい時間になったと思った。

2年

- ・一人一人何がちがうのかを発見したいです。
- ・お～、へ～、そうなんやの言葉で、話をしている人の気持ちもうれしくなる。それを自分もやりたいです。
- ・みんな一人一人せいかくやすきなものやとくいなのがちがって、人それぞれなんだなと思った。一人一人ちがうから楽しいんだなと思った。
- ・自分をいかしてありのままの自分ですごしていこうと思った。
- ・これから一人一人のすてきなこせいをみつけていきたい。
- ・「もちあじ」ということばは知っていましたが、そんなに大切なことだとは知りませんでした。もちあじのちがいとちがっていても、ちっともへんなことではないんだということを知りました。
- ・もっと人の話をうなずいて聞いてみます。だって、そうしたらほんとは何を話したいのかがわかるかもしれないからです。
- ・自分はみんなとちがうなあとと思ったけど、話を聞いて、ちがっててもいいんだと思った。
- ・人が安心して話せたり、安心して聞いたりできるためにはうなずいたりしたら安心できると感じた。
- ・パスとかなかなか言えないけど、言うタイミングをつくってほんとうにいかしてやってみようと思う。
- ・人の気持ちを感じて、人や自分が安心できるようにする。

3年



- 安心の約束をなるべく守り、相手を不安にさせないようにがんばりたいです。一人一人ちがっていいということがわかりました。
- 自分のもちあじは大切なんだと感じた。これからはひみつを守ろうと思った。
- うなずきの「おへそ」をこれからも活かしていきたい。安心の約束も守ってきたい。
- もちあじは一人一人ちがうということに気づいた。人のもちあじをばかにするのはよくないということに気づいた。
- だれかがパスしても「ずるい」と思わないように気をつけようと思った。
- 一人一人のもちあじはたからものみたいな大切なものだと思った。
- 世界で一つだけの自分のもちあじだからもっと大切にしようと思った。
- ぼくはきつい言い方をしてしまうから気をつけたい。それで人のもちあじをこわさないようにしたい。パスOK！をがんばりたい。
- 今まで自分のせいかくがいやだったけれど、沖本さんの話を聞いていたら「ありのままがいいのか・・・」と思いました。
- 友だちの性格が「悪い」とたまに思っていたけれど、「人によってちがう」のだから思わない方がいいんだなと思いました。

4年

- 好きなものなどがちがうからって「あの人は変だ」と決めつけるのではなく、それがその人のもちあじなんだと考えて仲を深めていきたいと思いました。
- 今までできなかったことをしていいと言ってくれたり、ものを違う視点で言ってくれたりしていたから、なぐさめられているような気がして安心することができた。
- うなずいてくれたら安心するので、ぼくもうなずくことを頑張ろうと思った。
- これから友だちに「ひみつにして」と言われたことはひみつにしようと思いました。
- 沖本さんの話を聞いて、あらためて「ちがう」っていいことなんだと感じました。人は相手や自分を基準にしてしまい、できないことはダメとってしまう部分がありますが、違うからこそ楽しく仲良くできるんだと思いました。
- 人と違うことを発見し、友だちのいいところをたくさん伝えていったり人の得意な部分をみてどんどん新しい挑戦をしようと思いました。
- 授業の発表の時、「安心」があるおかげでしっかり話すことができた。自分の持ち味があるから自分ができているんだ。自分のダメなところも自分の宝物なんだと思った。
- 自分のだめなところも自分の宝物だから、ネガティブにとらえるのではなくポジティブにとらえていこと思った。
- 一人一人のもちあじは大切に、個性にもつながることなんだなと思った。安心の約束は忘れずに守りたい。

5年

- 自分も、「好き」だけど「できない」ということがたくさんあって、お話を聞いて同じような人も他にもいるんだと思って安心しました。
- 今度から友だちの話を聞くときは、「おー」とか「へー」とか「そうなんや」とか、うなずいたりして聞きたいと思いました。
- 沖本さんのお話を聞いて、相手が自信を持って話せるような聞き方を知ることができました。私は、もっと相手が話したくなるような聞き手になりたいです。自分が話しているときに相手がちゃんと聞いてくれないと話したくなくなるけれど、気付かないうちに自分も適当になっていることが多いのでそういうことをなくしたいです。
- 初めて分かったことは、一人一人の個性があるから、おもしろいと感じられることです。みんながいるからこそ安心したり、今の自分がいるという考えはとてもいいなと思いました。
- 自分の栄養になっているものや、友だち、家族を大切にしていきたいと思いました。
- もちあじが自分を作っていることを初めて知った。これからは他人のもちあじを知ったら共感しようと思った。
- いつもなにげなくやっているうなずきも、大切な意味を持っているんだと知り、意識してやりたいと思いました。秘密にしてほしいということは、それを守って、他の人に教えたりしないことをしっかり守って信用してもらえ人になりたいです。
- 最初、何回もうなずくのは大変なんじゃないかと思ったんですが、先生の話聞いて、心でうなずくのもいいということを知りました。今まであまりうなずくことがなかったので、これからはたくさんうなずこうと思いました。

6年

